第6講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展

PART1 イスラーム教の成立

Chapter 1　ムハンマドとイスラーム教の誕生

目標　6 世紀にアラビア半島で交易が盛んになった背景を知ろう。
ムハンマドが聖遷を行ったのはなぜだろうか。

1　6世紀の西アジアの変容

①［　　　　　　　　］**ペルシア**（224 年～ 651 年）と**東ローマ帝国**の抗争

A　6 世紀半ばに**ホスロー 1 世**が勢力を拡大

B　**東ローマ帝国（ビザンツ帝国）**と抗争を繰り広げた

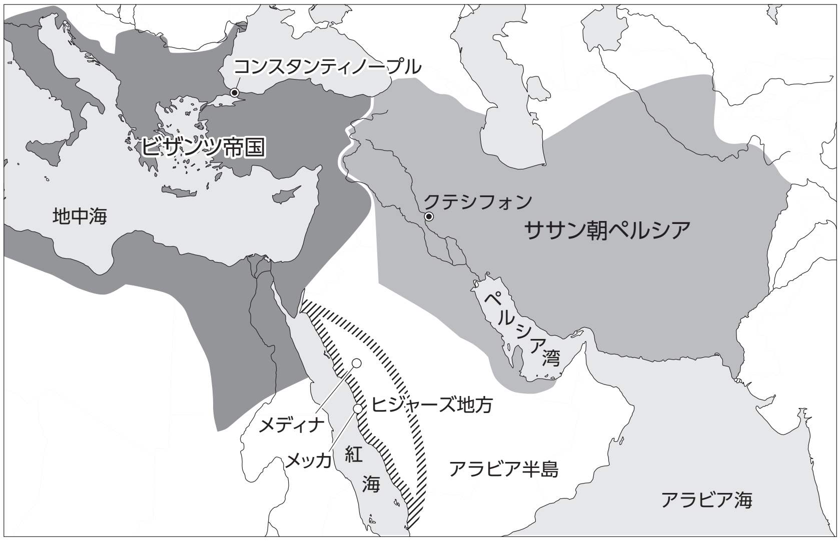
②アラビア半島を通る交易の発展

A　抗争により**シルクロード**交易が衰退

B　アラビア半島の西部沿岸部（ヒジャーズ地方）を通る交易が盛んになった

→アラビア半島では多神教が信仰されていたが，一神教のユダヤ教やキリスト教の思想が流入し，広まりつつあった

→商業が発展し，経済的格差が広がった



6 世紀の西アジアの情勢

2 イスラーム教の誕生

610年頃　〔　　　　　〕の名家クライシュ族出身の〔　　　　　　　　〕が

〔　　　　　　　　　〕を創始

A　神の啓示を受け，自らを**預言者**と考え布教をはじめる

B　多神教の偶像崇拝を否定し，唯一神〔　　　　　　〕への信仰を説いた

622年　〔　　　　　　〕へ移住（〔　　　　　　〕，**聖遷**）

A　メッカの有力者たちから迫害を受け，信徒**ムスリム**とともにメッカを逃れる

B　当地にてイスラーム共同体（〔　　　　　〕）を形成

630年　メッカを征服

多神教の神殿であった〔　　　　　　　　〕をイスラーム教の聖殿とした

ムハンマドはさらに勢力を伸ばし，多くのアラブ諸部族を従えてアラビア半島のほとんどを支配下に置いた

3 イスラーム教の特徴

①唯一神アッラーへの絶対帰依

イスラームとは「アッラーへの絶対帰依（自分の全てを神に委ねること）」を意味する

※イスラーム教は，ユダヤ教･キリスト教と同じ一神教であり，共通の唯一神を信仰する。
ユダヤ教徒・キリスト教徒は「啓典の民」として信仰の自由を認められた。

②啓典『〔　　　　　　　　〕（**コーラン**）』

ムハンマドが受けたアッラーの啓示をアラビア語でまとめた書物

③ムスリムの平等

A　全てのムスリムは神の前で平等とされ，信徒と神の間に介在する聖職者はいない

B　偶像崇拝は厳禁とされる

④〔　　　　　　〕

神・天使・啓典・預言者・来世・天命の六つを信じること（**六信**），信仰告白・礼拝・断食・喜捨・巡礼の五つを行うこと（**五行**）がムスリムの義務とされる

まとめ

東ローマ帝国とササン朝ペルシアが抗争したため，シルクロード交易が衰退し，アラビア半島経由の交易が盛んになった。
ムハンマドがイスラーム教を創始すると，メッカの有力者たちから迫害を受けたため，聖遷（ヒジュラ）を行った。

Chapter 2　正統カリフ時代と征服運動

目標
アラブ軍の征服活動がもたらした影響について考えよう。
正統カリフ時代におけるカリフの継承はどのように行われたのだろうか。

1　イスラームの征服活動

①**正統カリフ時代**（632 年～ 661 年）

ムハンマドの死後，預言者の後継者として〔　　　　　　〕の地位が設けられ，ウンマを指導した。その地位は世襲ではなくウンマの合議によって決められた。そのため，初代から第 4 代カリフまでの時代を〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

②正統カリフの征服戦争

A　初代正統カリフ：**アブー＝バクル**

カリフに就任後，ウンマに反抗する勢力を鎮圧し，アラビア半島外への征服活動をはじめた

B　第 2 代正統カリフ：**ウマル**

あ　大規模な征服戦争〔　　　　　　　　〕（聖戦）を行い，東ローマ帝国からシリアやエジプトを獲得

い　642 年　**ニハーヴァンドの戦い**

ササン朝ペルシアを撃破。イラク・イランを支配下に置き，大帝国を築いた

ジハード

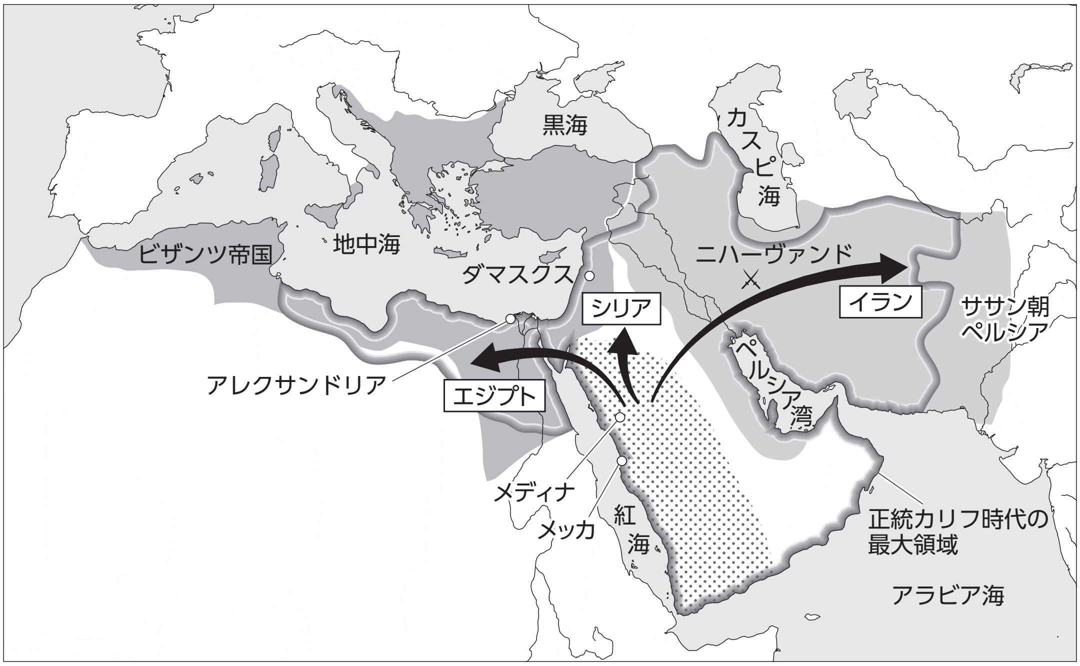
C　第 3 代正統カリフ：**ウスマーン**

あ　治世の前半は征服地を順調に拡大したが，征服活動停滞後は内部対立が表面化

い　今日に残る『クルアーン（コーラン)』を編さんした

D　第 4 代正統カリフ：〔　　　　　　〕

アラブ諸部族間の対立の中で暗殺された



正統カリフ時代の征服地

2 征服地の統治

①軍営都市（〔　　　　　　　　〕）の建設

統治の拠点としてミスルが築かれ，カリフから任命された〔　　　　　　　　　　〕（総督）が統治。治安維持と徴税を行う。兵士には俸給（**アター**）が支給された。多くのアラブ人がミスルに移住した

※非アラブ人のイスラーム教改宗者は〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれた。

②税の徴収

異教徒（ズィンミー）に**人頭税**（〔　　　　　　　〕）と**土地税**（〔　　　　　　　　　　　　〕）が課された

※異教徒も税を納めることで生命・財産の安全や従来の信仰が認められた。

まとめ

征服活動の結果，シリアやエジプト，イランにイスラーム教が広がった。
正統カリフ時代は，ウンマの合議でカリフ位が継承された。

第６講 PART１ 確認問題

1 ６世紀半ばのホスロー１世時代に勢力を拡大し，東ローマ帝国と抗争を繰り広げた王朝はどれか。

① 西ローマ帝国　② アケメネス朝ペルシア
③ 漢　④ ササン朝ペルシア

2 イスラーム教を創始したのはだれか。

① ガウタマ＝シッダールタ　② ムハンマド
③ アッラー　④ ペテロ

3 イスラーム教を創始した人物が迫害から逃れ，メディナへ移住したことを何というか。

① バビロン捕囚　② ヒジャーズ
③ ヒジュラ（聖遷）　④ 陶片追放

4 イスラーム教徒の共同体のことを何というか。

① ポリス　② 植民市
③ オアシス　④ ウンマ

5 イスラーム教の聖典はどれか。

① 旧約聖書　② 新約聖書
③ クルアーン（コーラン）　④ 六信五行

6 ムハンマドの死後に設けられたイスラーム共同体の指導者の地位はどれか。

① カリフ　② 護民官
③ メシア　④ 皇帝

7 アラブ軍の大規模な征服戦争を何というか。

① ジハード（聖戦）　② アター
③ ミスル　④ ペルシア戦争

8 イスラーム政権が土地に対して課した税を何というか。

① ズィンミー　② ハラージュ
③ マワーリー　④ ジズヤ

第６講　PART１　確認問題 解答

1 解答：④　６世紀半ばに西アジアで東ローマ帝国と対立したのは**ササン朝ペルシア**である。アケメネス朝ペルシアは前３世紀に滅亡しており，時代が異なる。

2 解答：②　唯一神アッラーの啓示を受けた**ムハンマド**がイスラーム教を創始した。

3 解答：③　622年にイスラーム教の創始者ムハンマドがメディナに移住したことを**ヒジュラ（聖遷）**という。この年はイスラーム暦（ヒジュラ暦）の元年とされている。

4 解答：④　ムハンマドはメディナでイスラーム共同体である**ウンマ**を築き，勢力を高めた。

5 解答：③　イスラーム教の聖典**クルアーン（コーラン）**は，ムハンマドがアッラーから受けた啓示をまとめたものである。六信五行はイスラーム教徒が果たすべき義務のことである。

6 解答：①　預言者ムハンマドの後継者として**カリフ**がイスラーム共同体の指導者となった。

7 解答：①　イスラーム教徒の異教徒に対する戦いを**ジハード（聖戦）**と呼び，アラブ軍は広大な地域を支配下におさめた。ミスルはアラブ軍が築いた軍営都市のことである。

8 解答：②　イスラーム政権が課した土地税を**ハラージュ**といい，人頭税をジズヤという。